

ヘッジファンド概況（2017年6月）

2017年7月

資産運用研究所
アナリスト
野首 文徳

当月（2017年6月）のヘッジファンドの資金動向やパフォーマンス概況は、以下のとおりである。（データの出所はユーリカヘッジ。資金動向はユーリカヘッジのデータベースのうち2017年7月17日時点で報告があった54.51%のファンドに基づく推計値であり、パフォーマンスは7月28日時点で取得したヘッジファンド・インデックスより作成。）

1. ヘッジファンドの資金動向

～6ヶ月ぶりに運用残高が減少～

当月は、ヘッジファンド全体で77億ドルの運用損が生じた一方で、33億ドルの資金が純流入した。その結果、当月末の運用残高は、前月末から44億ドル減少し、2兆3,134億ドルとなった（図表1）。なお、運用残高の減少は2016年12月以来であり、6ヶ月ぶりとなる。

戦略別にみると、当月の運用損益は、マネージドフューチャーズ、マルチ・ストラテジーの運用損が比較的大きく、この2戦略で73億ドルの運用損となる。資金流出額は、金額は小さいものの、破綻債券を除く9戦略（その他を含む）で純流入であった（図表2,3）。

投資地域別にみると、アジア（除く日本）を除く4つの地域で運用損益はマイナスであり、なかでも米国は68億ドルの運用損であった。資金の純流出入は、中南米を除き純流入であった（図表4,5）。

2. ヘッジファンドのパフォーマンス概況

～アービトラージが好調～

ユーリカヘッジ・ヘッジファンド・インデックスの直近1年間の戦略別パフォーマンス概況は以下のとおりである（図表6,7,8）。（インデックスの概要は巻末Appendixを参照）

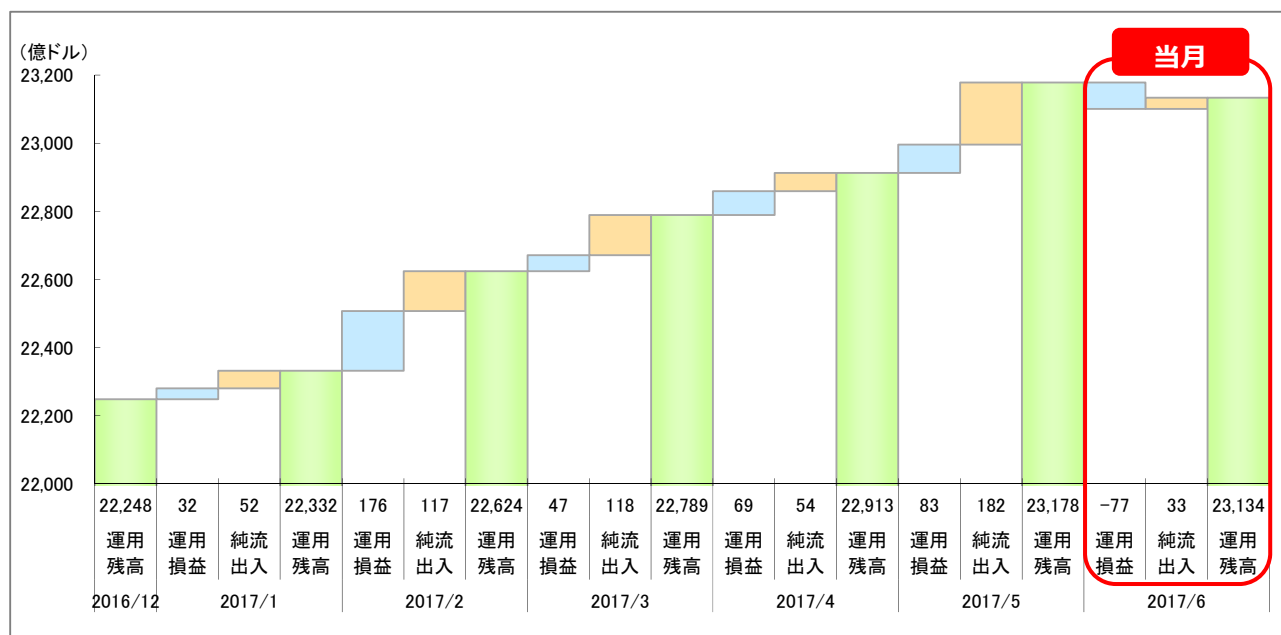
当月のリターンは、リラティブバリュー（+0.79%）が最も大きく、アービトラージ（+0.72%）、株式ロング・ショート（+0.60%）と続く。なお、アービトラージは12ヶ月連続のプラスリターンと好調を維持しており、直近1年間のリターン/リスク比（6.73）をみても、9戦略中で最も高い。一方、2017年4月まで好調であった破綻債券が2ヶ月連続でマイナスリターンとなり、直近1年間のリターンでは、イベント・ドリブンが破綻債券を上回り最も高い。

※なお、この戦略別リターンに使用している指数は、単純平均で計算されているので、図表2の運用損益の符号と一致しないことがある。

1. ヘッジファンドの資金動向

図表 1 ヘッジファンド全体の資金動向

※グラフの見方：左から順に「前月末の運用残高」「該当月の運用損益」「該当月の純流出入」、左記 3 点を合計した「該当月末の運用残高」が並んでいる



(参考) ユーリカヘッジ・ヘッジファンド・インデックスのリターン (%)

2017/1	2017/2	2017/3	2017/4	2017/5	2017/6
0.88	1.03	0.46	0.55	0.31	0.12

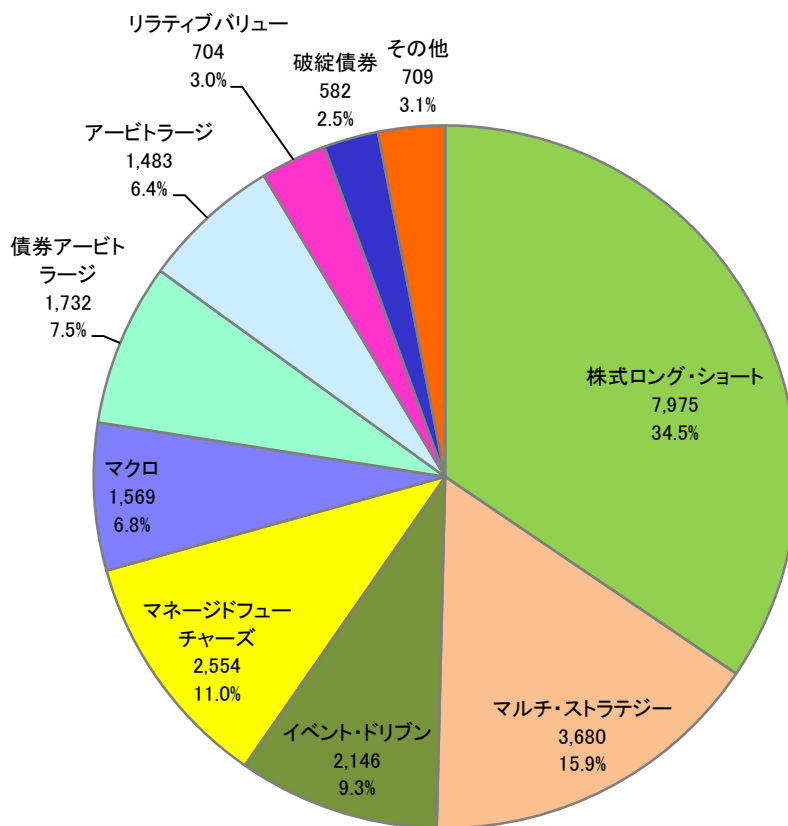
※ 当インデックスは単純平均で算出されている。

図表2 ヘッジファンドの戦略別資金動向

(億ドル)

投資戦略	6月末 運用残高 a + b + c	6月末 構成比	5月末 運用残高 a	6月中 運用損益 b	6月中 純流出入 c	運用損益+ 純流出入 b + c
株式ロング・ショート	7,975	34.5%	7,967	-2	11	8
マルチ・ストラテジー	3,680	15.9%	3,700	-21	1	-20
イベント・ドリブン	2,146	9.3%	2,142	2	1	4
マネージドフューチャーズ	2,554	11.0%	2,598	-52	7	-44
マクロ	1,569	6.8%	1,572	-6	3	-3
債券アービトラージ	1,732	7.5%	1,725	1	6	7
アービトラージ	1,483	6.4%	1,477	2	4	6
リラティブバリュー	704	3.0%	704	0	0	0
破綻債券	582	2.5%	584	-0	-2	-2
その他	709	3.1%	709	-2	2	-0
全体	23,134	100.0%	23,178	-77	33	-44

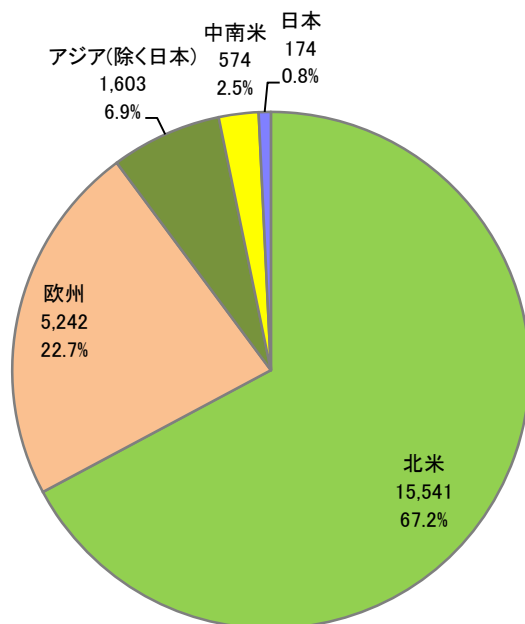
図表3 運用残高の戦略別構成比 (2017年6月末)



図表4 ヘッジファンドの投資地域別の資金動向

投資地域	(億ドル)					
	6月末 運用残高	6月末 構成比	5月末 運用残高	6月中 運用損益	6月中 純流出入	運用損益+ 純流出入
	a + b + c		a	b	c	b + c
北米	15,541	67.2%	15,593	-68	16	-52
欧州	5,242	22.7%	5,236	-12	18	5
アジア(除く日本)	1,603	6.9%	1,597	4	1	5
中南米	574	2.5%	577	-1	-2	-3
日本	174	0.8%	174	-0	1	0
全体	23,134	100.0%	23,178	-77	33	-44

図表5 運用残高の投資地域別構成比 (2017年6月末)



2. ヘッジファンドのパフォーマンス概況

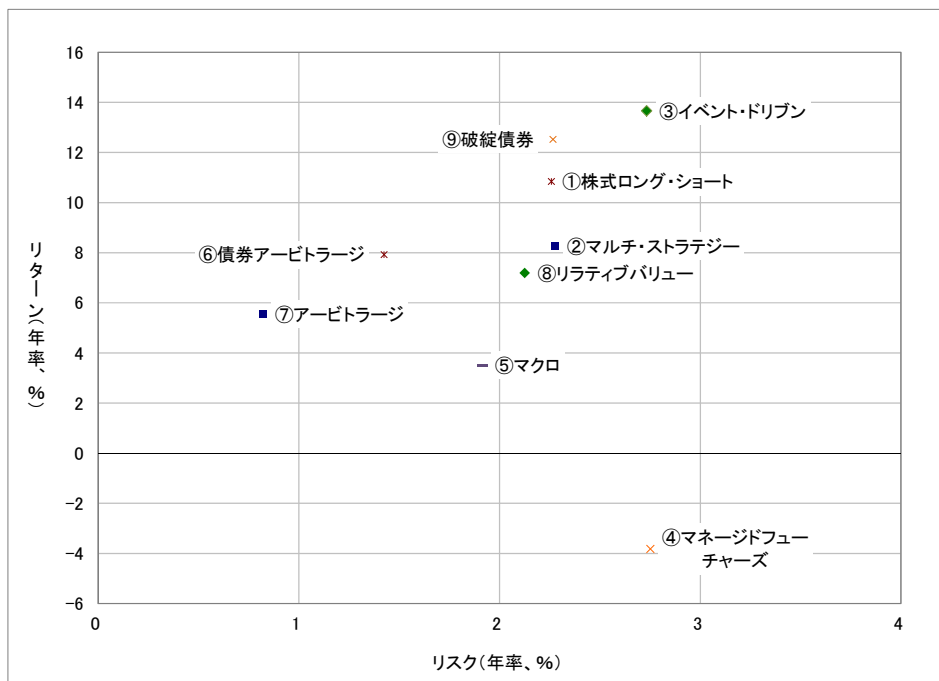
図表6 直近1年間の月次リターンの推移

戦略													(%)	
	2016 /7	2016 /8	2016 /9	2016 /10	2016 /11	2016 /12	2017 /1	2017 /2	2017 /3	2017 /4	2017 /5	2017 /6	直近1年間 リターン	リスク
①株式ロング・ショート	2.30	0.85	0.97	-0.39	0.63	0.83	1.53	1.09	0.97	0.73	0.25	0.60	10.84	2.26
②マルチ・ストラテジー	1.49	0.21	0.56	0.39	-0.61	0.84	0.91	2.05	0.69	0.65	0.42	0.38	8.26	2.28
③イベント・ドリブン	2.14	1.42	0.92	-0.61	1.44	1.92	1.96	1.14	0.29	1.10	0.63	0.56	13.66	2.73
④マネージド・フューチャーズ	0.58	-1.64	-0.23	-1.47	-0.14	0.55	-0.62	0.68	-0.58	0.09	0.12	-1.20	-3.82	2.75
⑤マクロ	0.84	-0.31	-0.20	0.13	0.38	1.40	0.14	0.86	0.14	0.33	0.36	-0.61	3.50	1.91
⑥債券アービトラージ	1.29	0.91	0.42	0.47	-0.23	0.99	0.98	0.90	0.45	0.68	0.59	0.21	7.92	1.43
⑦アービトラージ	0.69	0.60	0.56	0.05	0.48	0.28	0.37	0.51	0.39	0.74	0.03	0.72	5.54	0.82
⑧リラティブバリュー	1.93	0.88	0.39	-0.50	0.65	0.50	1.22	0.59	0.26	-0.04	0.33	0.79	7.19	2.13
⑨破綻債券	1.49	1.37	1.14	1.37	1.31	1.60	1.58	1.37	0.66	0.24	-0.14	-0.12	12.52	2.27
⑩TOPIX(配当込)	6.18	0.55	0.34	5.31	5.49	3.47	0.22	0.94	-0.59	1.27	2.39	2.96	32.22	7.99

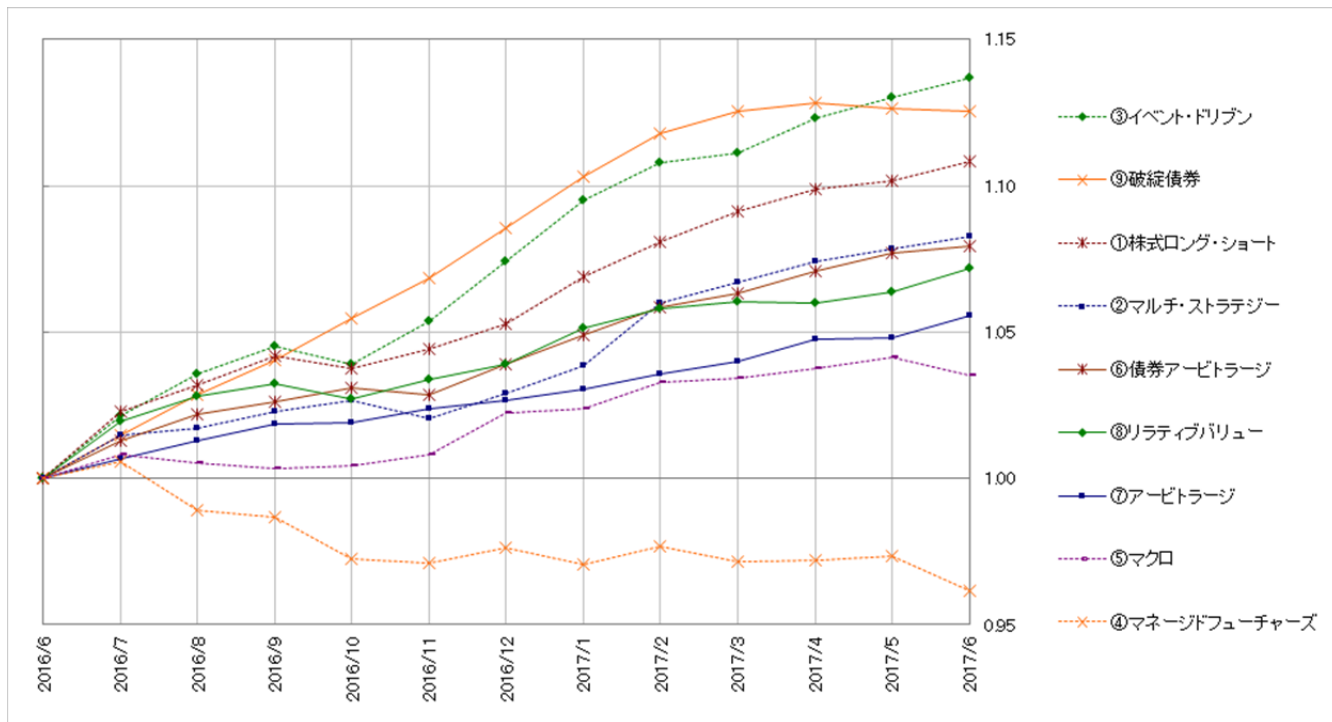
図表7 直近1年間のリターン・リスク (2017年6月末)

戦略	リターン (%)		リスク (%)		リターン/リスク比	
	順位	順位	順位	順位	順位	順位
①株式ロング・ショート	10.84	3	2.26	4.80	5	
②マルチ・ストラテジー	8.26	4	2.28	3.63	6	
③イベント・ドリブン	13.66	1	2.73	5.00	4	
④マネージドフューチャーズ	-3.82	9	2.75	-1.39	9	
⑤マクロ	3.50	8	1.91	1.83	8	
⑥債券アービトラージ	7.92	5	1.43	5.56	2	
⑦アービトラージ	5.54	7	0.82	6.73	1	
⑧リラティブバリュー	7.19	6	2.13	3.38	7	
⑨破綻債券	12.52	2	2.27	5.52	3	

(分析期間) 2016年7月～2017年6月の月次リターンデータ



図表8 直近1年間の指数の推移 (2016年6月末 = 1.0)



- ※ 図表1～5,7,8はユーリカヘッジより日興リサーチセンター作成
- ※ 図表6はユーリカヘッジ、トムソンロイターより日興リサーチセンター作成
- ※ 分析には2016年7月～2017年6月の月次リターンデータを使用

Appendix

- ユーリカヘッジ・ヘッジファンド・インデックス (Eurekahedge Hedge Fund Indices) は、ユーリカヘッジが保有するヘッジファンド・データベースのファンドを組入れている。
- この指数には 10 本の戦略別サブインデックスがあり、各戦略の概要は以下のとおりである。

アービトラージ (Arbitrage)

異なる市場において、同一商品の価格が異なるという市場の非効率性を利用し利益を上げる戦略。

マネージドフューチャーズ (CTA / Managed Futures)

商品先物、オプション、先物為替取引に直接または商品投資顧問業者を仲介し投資する戦略。

破綻債券 (Distressed Debt)

財務、もしくは経営面で困難に陥った企業の債券に投資し、その後の企業の信用力回復に伴う債券価格の上昇から利益を上げる戦略。

イベント・ドリブン (Event Driven)

近い将来に予想される、もしくは起きる可能性のある企業の合併、公募増資、買収などのイベントを利用した戦略。

債券アービトラージ (Fixed Income)

フィックス・インカム証券とそのデリバティブ商品においてロングとショートのポジションを組み合わせる戦略。

株式ロング・ショート (Long / Short Equities)

価格が上がる見込みの株式をロングし、逆に下がりそうな株式をショートし、相場のトレンドに左右されずに利益を上げる戦略。

マクロ (Macro)

トップダウン型のマクロ的な視野 (金利や通貨など) に基づいて投資ポジションを取る戦略。

マルチ・ストラテジー (Multi-Strategy)

複数の投資戦略を組み合わせた戦略。

リラティブバリュー (Relative Value)

アセット間のミスプライスを利用し、低リスクで収益を追求する戦略。

その他 (Others)

他のヘッジファンド戦略で使用されている多様な投資機会にアロケーションを行う戦略。

«以下にユーリカヘッジの免責事項を引用する»

Eurekahedge(“ユーリカヘッジ”)のデータは、各運用機関及び外部の情報を元に作成しております。ユーリカヘッジ及びその関係者は情報の正確性、完全性、市場性、仮定、計算などについて保証を行っておりません。情報の閲覧・利用者は、データの使用に際して、情報における全てのリスクを認識し、負う必要があります。ユーリカヘッジではデータ及び情報に基づくいかなる理由の損害に関しても責任を負いかねます。データは、特定のファンド、有価証券、または金融商品、企業への投資に関する勧誘或いは販売勧誘を構成するものではなく、また、金融機関や専門家としての助言として解釈されるべきではありません。Copyright © 2011 Eurekahedge Pte Ltd